

**地域イノベーション戦略推進地域
とちぎフードイノベーション戦略推進地域
(研究機能・産業集積高度化地域) 終了評価結果**

(1) 地域イノベーション戦略の概要

○イノベーション推進協議会：とちぎフードイノベーション推進協議会

○総合調整機関：公益財団法人栃木県産業振興センター

○協議会構成機関：

【産】：一般社団法人栃木県商工会議所連合会、栃木県商工会連合会、栃木県中小企業団体中央会、公益社団法人栃木県経済同友会、一般社団法人とちぎ農産物マーケティング協会、公益財団法人栃木県産業振興センター、一般社団法人栃木県食品産業協会、栃木県農業協同組合中央会、全国農業協同組合連合会 栃木県本部、公益財団法人栃木県農業振興公社

【学】：国立大学法人宇都宮大学

【官】：栃木県

【金】：株式会社足利銀行、株式会社栃木銀行

○地域イノベーション戦略のテーマ：

とちぎ特産物の多面的高度利用によるイノベーション
～フードバレーとちぎを目指して～

○地域イノベーション戦略の概要：

栃木県では、食に関連する産業の振興を図る“フードバレーとちぎ”の取り組みを進めており、その実現に向けては、地域の強みや特性を活かした技術や商品を常に生み出すことが重要である。本構想は、本県が生産量日本一を誇る「いちご」を活用し、生産から加工、流通までの一貫した技術開発により、関連する産業の活性化等を通じて、持続的なイノベーションを創出し、国内外での競争力を強化するものである。

(2) 総評（総合評価：B）

栃木県全体でイチゴに対する研究開発が行われており評価できる。一方、特許出願数、事業化件数、ベンチャー企業設立件数、経済的波及効果及び雇用創出効果等の課題が残った。また、海外にも積極的に輸出すべく必要な技術を研究開発しているものの、自立的発展の基盤は確実なものとはなっていない。今後は自律的発展に向けて実績を積み上げる産官学のさらなる努力に期待したい。